

カース・レーシング三輪車

取扱説明書



目次

①定義とシンボルマークについて	P1
②安全上の注意事項	P1
③梱包内容	P2
④各部の名称	P2
⑤組み立て方法	
●シャフト付き後輪の取り付け	P3
●後輪の取り付け	P3
●ハンドル取り付け	P3
●サドルパイプの取り付け	P4
●ステップ取り付け部品の取り付け	P4
●サドルの固定	P4
●ステップの取り付け	P4
●背もたれ、安心ガードの取り付け	P5
●前バスケットの取り付け	P5
●後バスケットの取り付け	P5
●ブザーの取り付け	P5
●コントロールバーの組み立て	P5
●コントロールバーの取り付け	P5
⑥ステップの高さ調節方法	P6
⑦ブレーキの取り扱い	P6
⑧安心ガードの開閉 / 取り外し方法	P6
⑨コントロールバーの調節 / 取り外し方法	P7
⑩ステップの取り外し方法	P7
⑪ロック&フリーの取り扱い	P8
⑫ブザーの取り扱い	P8
品質保証書	P9

お買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は必ずお読みいただき安全上の注意事項を良くご理解の上、商品をご使用ください。不適切な取り扱いは事故につながる恐れがあります。また、本書をいつでも参照できるように大切に保管してください。

① 定義とシンボルマークについて

この取扱説明書では以下のような内容が「警告」、「注意」として記載されています。



警告

身体に関する危険

守らないと人身事故が発生したり、創傷や火傷の可能性がある。



注意

財物や商品本体に関する危険

守らないと財物や商品本体に損傷の可能性がある。

② 安全上の注意事項

【ご使用のお客様へお願い】

本商品は公園など、屋外での使用を前提に企画されております。人通りの多いところでは、人にぶつかるなど思わぬ怪我の原因となることもありますので十分ご注意ください。店舗などにおけるご使用につきましては、その店舗の運営者にご確認の上、ご使用されるようお願い致します。



- SGマーク制度は三輪車の欠陥によって発生した人身事故に対する保証制度です。
- この商品はSG基準により安定性、走行性、耐荷重、耐衝撃に合格した商品です。
- ご購入日より二年間の対人賠償責任保険がついていますので、安心してお乗りください。
- 対象年齢：1.5歳～5歳未満 身長目安：80cm～100cmまで 乗車体重：20kgまで



警告

- 初めて乗るお子様は、保護者が使用上の注意を指導し、保護者のもとで遊ばせてください。
- お子様の足は地面およびペダルまたはステップに確実につくことを確認してから使用してください。
- ご使用の際は、必ずお子様に靴を履かせてからご使用ください。裸足で使用すると思わぬ怪我をする恐れがあります。
- 坂道での使用は避けてください。
- 交通の頻繁な道路、車両交通の多い場所では使用しないでください。
- 2人乗りなどの危ない乗り方は絶対しないでください。
- 車輪の周囲や回転部分には手や足を入れないでください。
- 斜面および段差のある場所、転落の恐れのある場所では乗らないでください。
- 三輪車は構造上、ハンドルを切ったとき、ペダルを踏み込んだときに転倒することがあるので注意してください。
- お子様を乗せたまま三輪車を持ち上げないでください。
- 幼児の足がペダルにのっている場合、コントロールバーの操作で無理な力を加えないでください。
- コントロールバーで操作する際は過度の荷重をかけたり、急な操作はしないでください。
- コントロールバーとステップは自走できない幼児のための補助具です。自走できるようになりましたら必ずコントロールバーとステップは取り外してください。
- 幼児、子供にコントロールバーを操作させないでください。
- コントロールバーの操作は必ず保護者が行い、幼児の足が巻き込まれないように注意してください。
- コントロールバーを付けた状態で使用するときは、必ずステップを使用し、ロック&フリー機能をフリーの状態にしてください。
- お子様がサドルに立ち上がらないように注意してください。また、コントロールバーに寄りかかると倒れる恐れがありますので十分に注意してください。
- コントロールバーに物をかけたりすると倒れる恐れがあるので、物をかけないでください。
- 業務用・団体用で使用しないでください。
- 三輪車以外の目的では使用しないでください。
- 小さな部品があり、誤飲の危険があります。組み立てや部品の取り外し作業はお子様がおそばにいない状態で行ってください。



おとなといっしょ



みずにぬらさない



ひにちがづけない

《乾電池を誤使用すると発熱、破損、液漏れの恐れがあります。下記に注意してください。》

- 充電池（ニカドなど）およびニッケル系乾電池（オキシライド乾電池など）は使用しないでください。
- 古い電池と新しい電池、いろいろな種類の電池を混ぜて使用しないでください。
- 長時間使用しないときは必ずスイッチを切り、電池を外してください。
- ＋（プラスマイナス）を正しくセットしてください。
- 電池をショートさせたり、充電、分解、加熱したり、火の中に入れないでください。
- 万一、電池から漏れた液が目に入ったときは、すぐに大量の水で洗い医師に相談してください。皮膚や、服に着いたときは水で洗ってください。

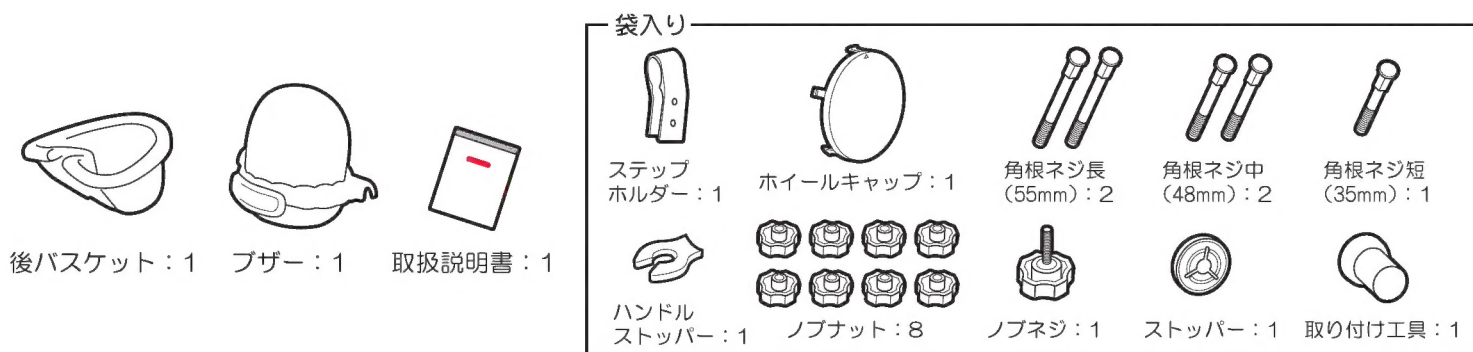
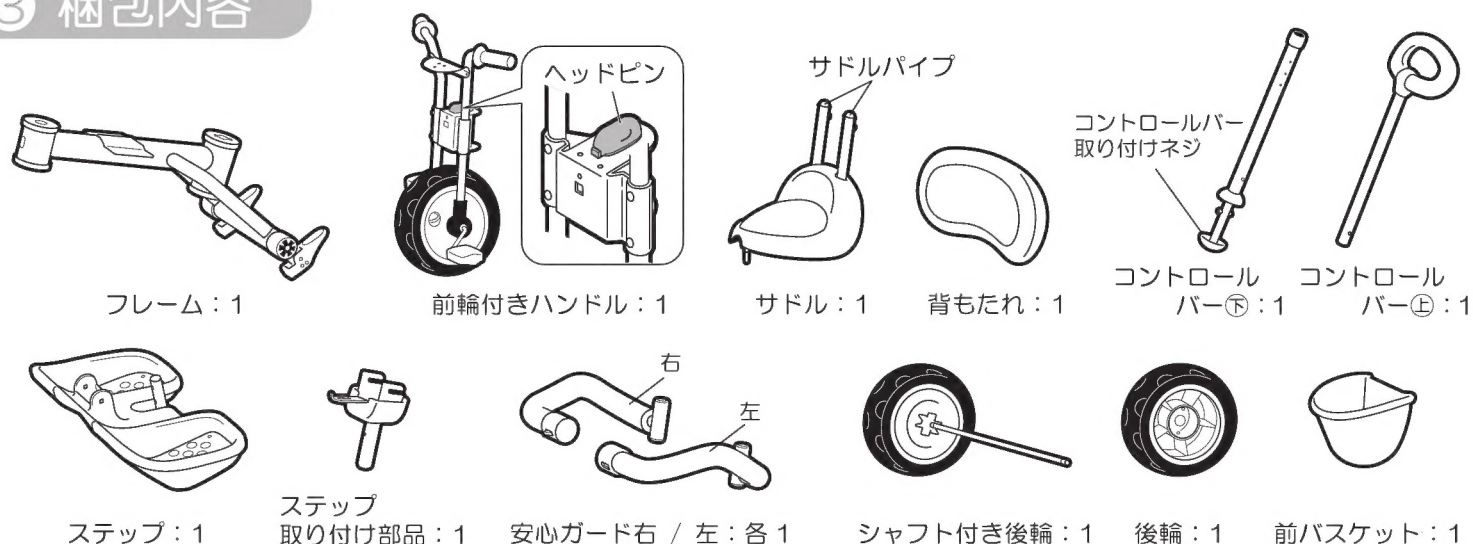


注意

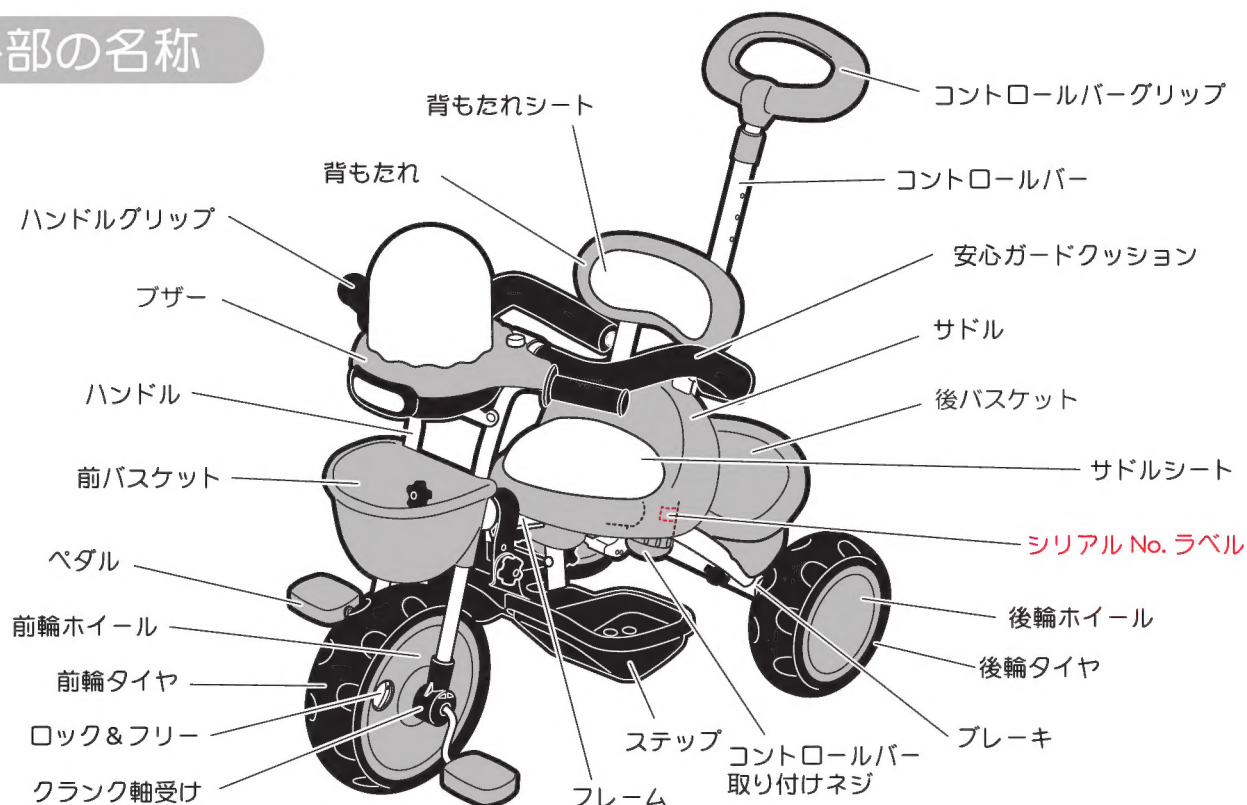
- 使用前には必ず手入れ、点検を行ってください。故障および破損したまま使用しないでください。
- 火気のある所、高温の場所には近づけないでください。
- 屋外で使用された後は直射日光を避け、雨ざらしにしないでください。
- 長い間の使用でネジがゆるむことがあります。お手数でも締め直してください。
- 砂場や水たまりで使用しないでください。

※本書には上記以外にも各操作に応じた「警告」、「注意」が表記してありますので、そちらもお読みください。

③ 梱包内容



④ 各部の名称



【材質】

フレーム : スチール	背もたれ : ポリプロピレン (PP)
ハンドル : スチール	ステップ : ポリプロピレン (PP)
コントロールバー : スチール	サドルシート : 塩化ビニール (PVC)
安心ガード : スチール	背もたれシート : 塩化ビニール (PVC)
コントロールバーグリップ : ポリプロピレン (PP)	ハンドルグリップ : 塩化ビニール (PVC)
前バスケット : ポリプロピレン (PP)	前 / 後輪タイヤ : エチレン酢酸ビニル共重合体 (EVA)
後バスケット : ポリプロピレン (PP)	安心ガードクッション : ポリウレタン (PU)
サドル : ポリプロピレン (PP)	ブザー : ABS/K レジン
前 / 後輪ホイール : ポリプロピレン (PP)	

●ネジの種類の確認

- ・ネジは 3 種類あります。右図は原寸のイラストと使用箇所の記載です。確認のためにご使用ください。

【原寸イラスト】

角根ネジ長(55mm): 2 本

角根ネジ中(48mm): 2 本

角根ネジ短(35mm): 1 本

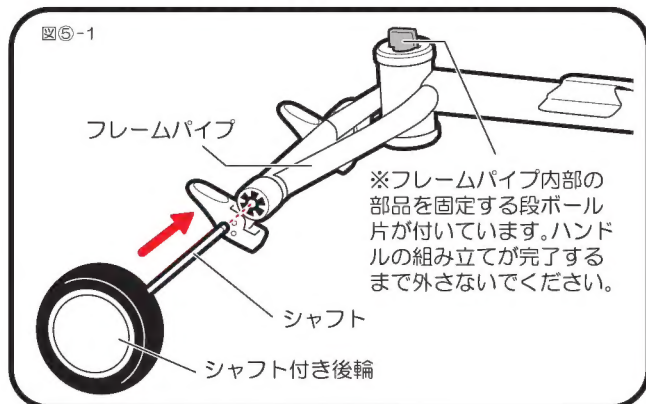
- ・P4【サドルパイプの取り付け】
- ・P4【ステップの取り付け】
- ・P6【ステップの高さ調節方法】
- ・P7【ステップの取り外し方法】

- ・P5【後バスケットの取り付け】

- ・P4【ステップの取り付け】
- ・P6【ステップの高さ調節方法】
- ・P7【ステップの取り外し方法】

⑤ 組み立て方法

●シャフト付き後輪の取り付け

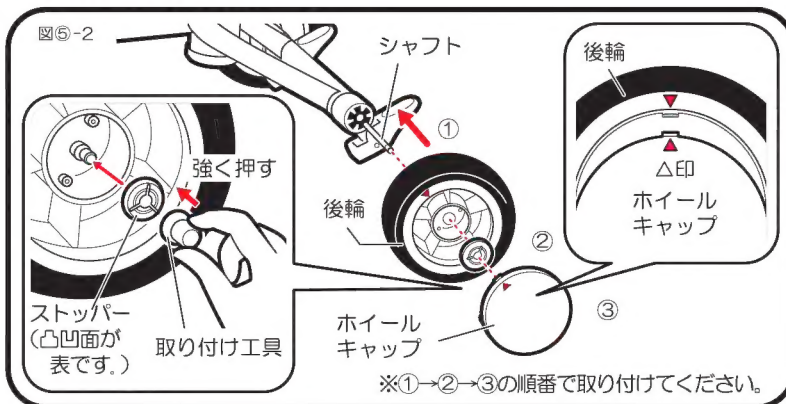


- ・シャフトをフレームパイプに通します。

注意

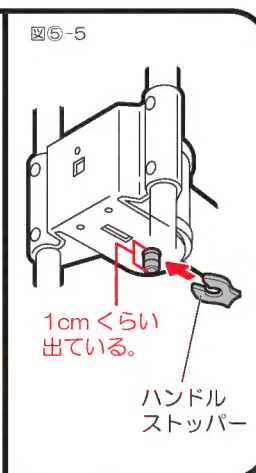
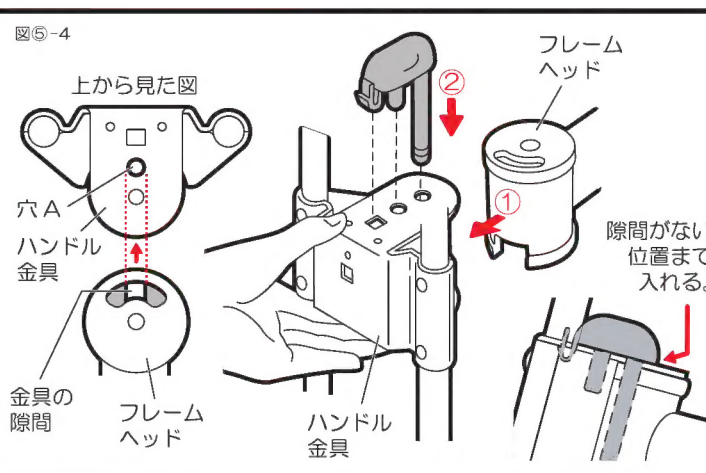
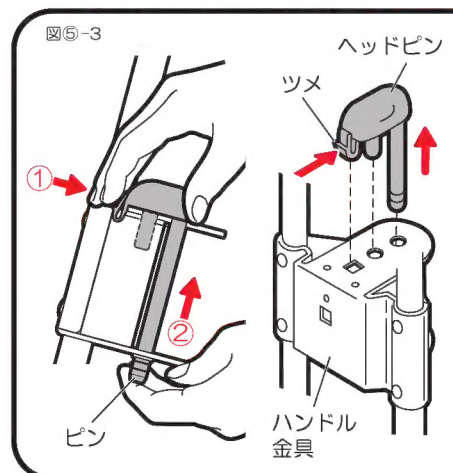
- ストッパー取り付け後、後輪を引っ張り、フレームから外れないことを確認してください。
- ストッパーは、一度取り付けると外すことができませんのでご注意ください。

●後輪の取り付け



- ①シャフトに後輪を通します。
- ②取り付け工具を使用してストッパーで固定します（取り付け工具はストッパーを固定したら不要となりますので、ホイールキャップの中には入れないでください）。
- ③後輪取り付け確認後、ホイールキャップを取り付けます。後輪の△印とホイールキャップの△印を図のように合わせてはめ込んでください。ホイールキャップのツメが確実に取り付けられていることを確認してください。

●ハンドルの取り付け

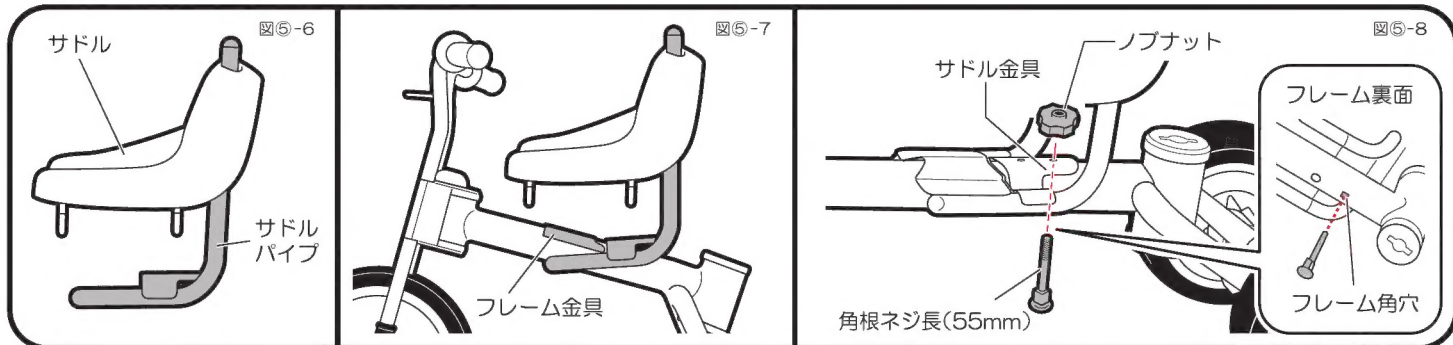


- ・ハンドルを取り付ける前に、ハンドル金具に付いているヘッドピンを取り外します。
- ・ヘッドピンのツメを矢印①の方向に押しながら、ハンドル金具の下部分から出ているピンの先端を矢印②の方向に押し上げ、引き抜いてください。
- ・ハンドル金具にフレームヘッドを矢印①の方向に入れます。
- ・フレームヘッドの長い穴から見える金具の隙間とハンドル金具の穴Aが合うように入れてください。金具の隙間と穴Aがズレているとヘッドピンが根元まで入りません。
- ・ハンドル金具の穴に矢印②の方向でヘッドピンを入れます。その際ハンドル金具の下部分を支えながら差し込みます。下部分を支えないで組み立てようとすると、ハンドル金具が曲がる恐れがあります。
- ・ハンドル金具の上面とヘッドピンに隙間がない位置まで、ヘッドピンが入っているか確認してください。
- ・ハンドル金具下からヘッドピンの先端が1cmくらい出ていることを確認してください。
- ・ピン先端の溝にハンドルストッパーを取り付けます。

注意

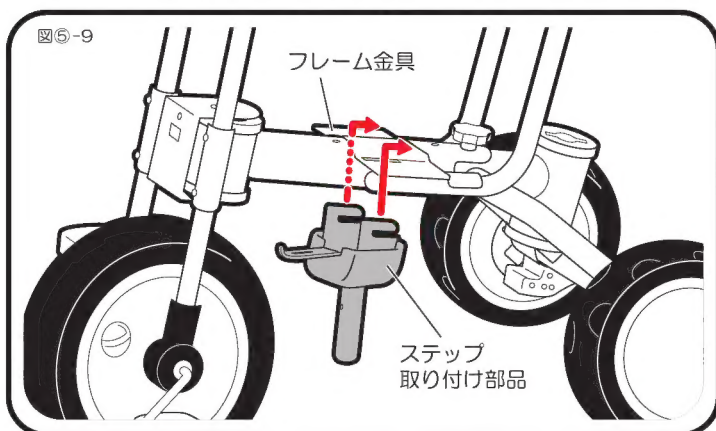
- ハンドル金具の下からヘッドピンの先端が1cmくらい出ていない場合は正常な組み立てではありませんのでご注意ください。
- ヘッドピンを差し込まない状態で無理な力を加えないでください。ハンドル金具が変形して、ヘッドピンが固定できなくなります。

●サドルパイプの取り付け



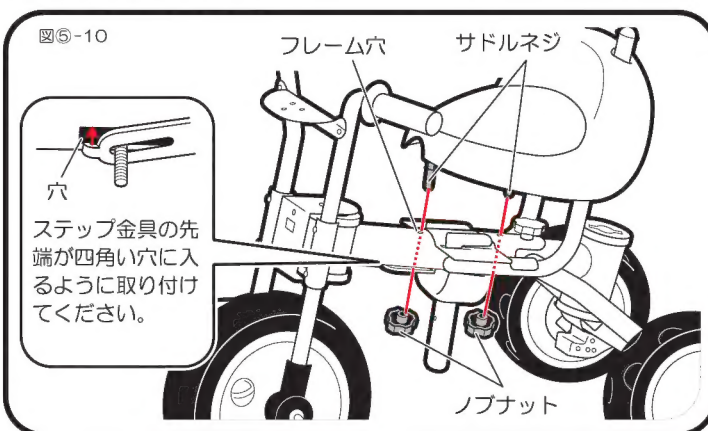
- ・サドルをサドルパイプから引き上げて、図のようにして下になるように置いてください。
- ・サドルパイプの先端がフレーム金具の下になるように置いてください。
- ・フレーム角穴から角根ネジ長(55mm)を入れ、ネジ先端がサドル金具の穴から出たらノブナットで強く締めつけてください。

●ステップ取り付け部品の取り付け



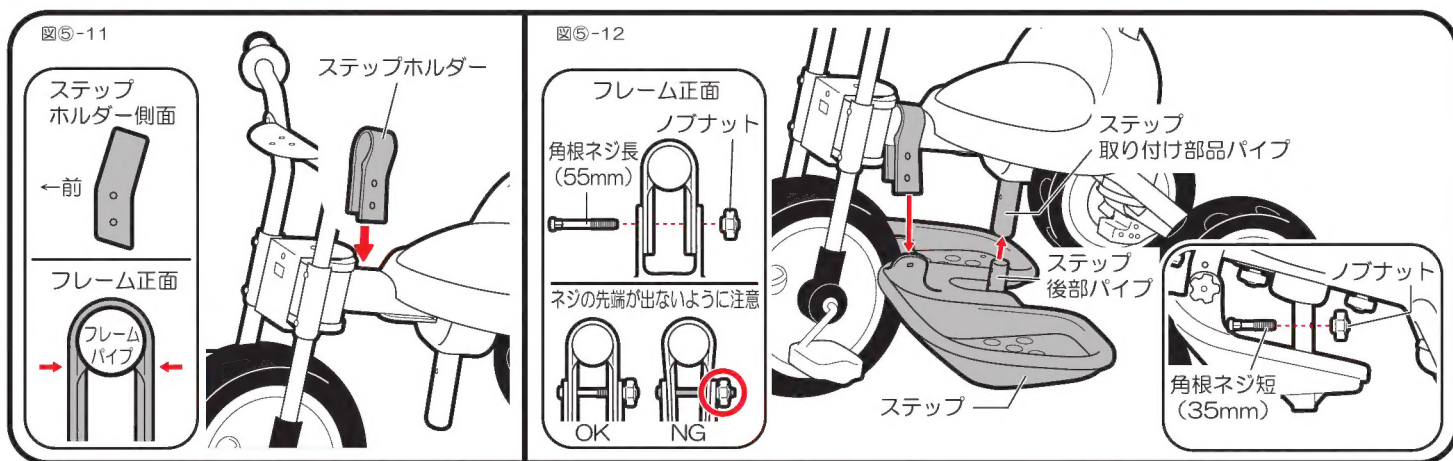
- ・ステップ取り付け部品の先端をフレーム金具の穴に入れ、後ろへずらして引っかけてください。

●サドルの固定



- ・サドルを押し下げ、サドルネジをフレーム穴に貫通させてください。
- ・フレーム下からネジ先端が出たらノブナットで固定してください。

●ステップの取り付け

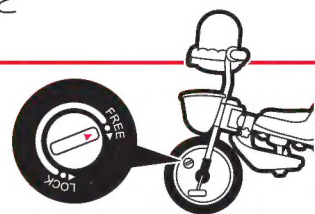


- ・ステップホルダーをフレームパイプに差し込みます(前後注意)。
- ・ステップホルダーをステップ前部の内側へ、ステップ後部パイプをステップ取り付け部品パイプへ同時に差し込みます。
- ・ステップ前部を角根ネジ長(55mm)とノブナットで締め付けます。ネジの先端がノブナットの表面から出ないように注意してください。
- ・ステップ取り付け部品パイプを角根ネジ短(35mm)とノブナットで締め付けて固定します。

必ず確認してください。

ステップを取り付けてご使用の際は、必ず前輪のロック & フリー機能をフリーにしてください。

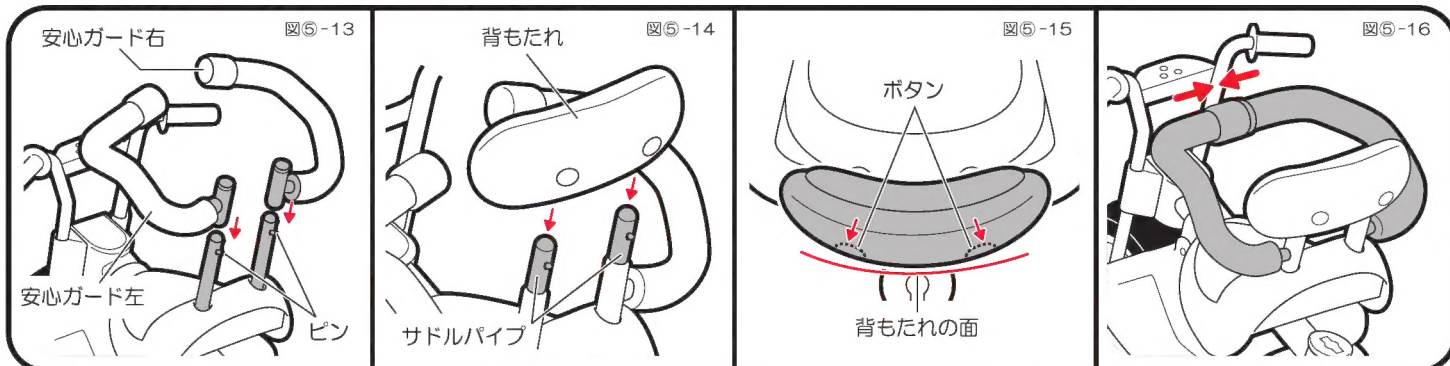
※ロック & フリー機能については 8 ページ【ロック & フリーの取り扱い】を参照してください。



注意

- ステップは自走できない幼児のための補助具です。自走できるようになったら必ず外してください。
- ステップの上に立たないでください。ステップは乗り降りするときの踏み台にしないでください。
- ステップ、サドルの取り付けはノブナットでしっかり固定してください。

●背もたれ、安心ガードの取り付け

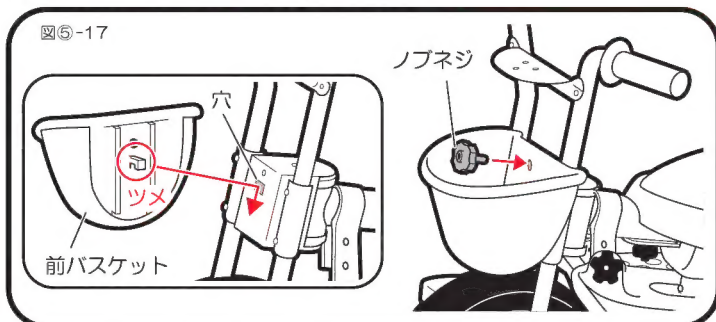


- ・サドルパイプのピンを押しながら左右の安心ガードを差し込んでください。
- ・背もたれをサドルパイプに強く押し込み、取り付けてください。
- ・後ろのボタンが背もたれの面と同じ位置まで出ていることを確認した後、背もたれを持って本体を持ち上げても外れないことを確認してください。
- ・安心ガードを閉じてください（安心ガードの閉じ方の詳細は6ページ【安心ガードの開閉方法】を参照してください）。

注意

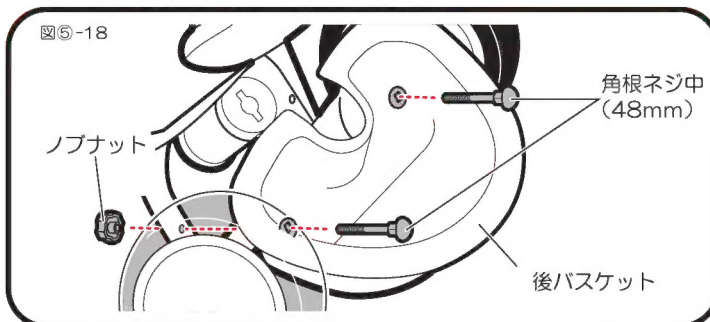
- 安心ガードの上に乗ったり無理な力をかけないでください。
- 安心ガードの開閉時に無理な力をかけないでください。
- 安心ガードを使用する際は手や指を挟まないように注意してください。
- 安心ガードの開閉は保護者が行ってください。

●前バスケットの取り付け



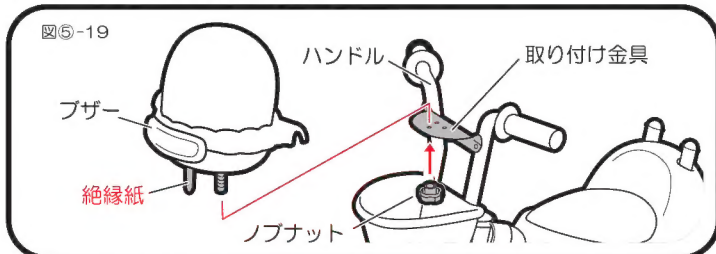
- ・前バスケット裏のツメをハンドル金具の穴に入れ、引っ掛けます。
- ・ノブネジでバスケットを固定してください。

●後バスケットの取り付け



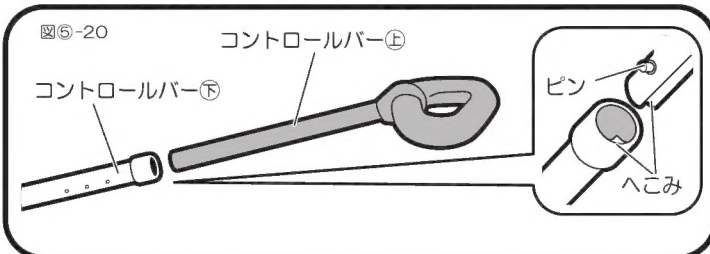
- ・後バスケットをフレーム後部にあてて、角根ネジ中(48mm)とノブナットで固定してください。

●ブザーの取り付け



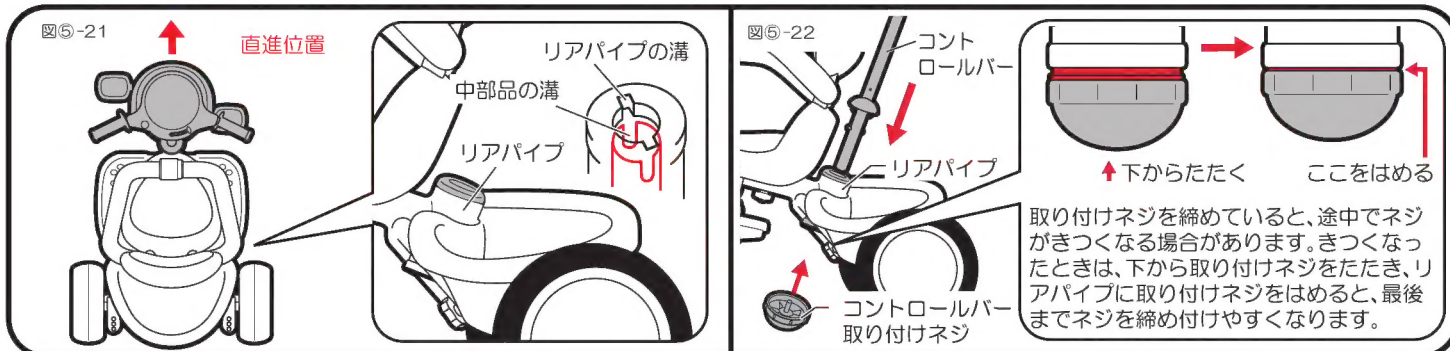
- ・ブザー底面のネジを取り付け金具の穴に差し込みノブナットで固定してください(ご使用前に絶縁紙を引き抜いてください)。

●コントロールバーの組み立て



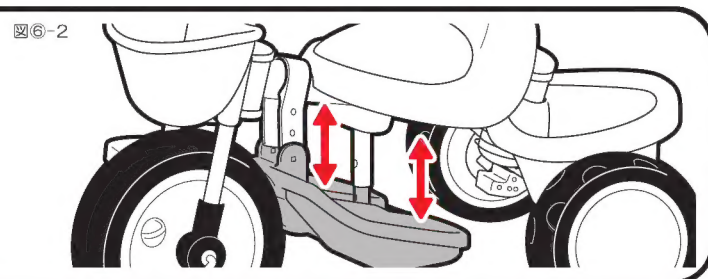
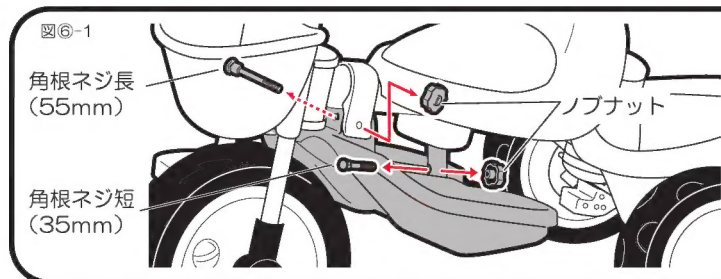
- ・コントロールバー④のピンを押しながら、コントロールバー⑤に差し込んでください。その際、パイプのへこみ方向を合わせるようにしてください。

●コントロールバーの取り付け



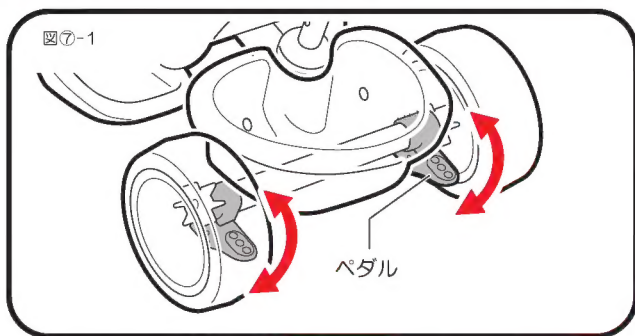
- ・ハンドルを直進位置(左右に曲げない)にして、リアパイプの溝と中部品の溝が合っていることを確認してください。溝がズれているとコントロールバーが入りませんのでご注意ください(ハンドルと中部品は連動して動きますので、中部品の溝がズれているときはハンドルを動かしてください)。
- ・図のような向きでコントロールバーをリアパイプに差し込み、コントロールバー取り付けネジで締め付け固定してください。コントロールバー取り付けネジがリアパイプにしっかりとハマったことを確認してください(ハンドルを直進位置にしないとコントロールバーはリアパイプに挿入できません)。

⑥ ステップの高さ調節方法



- ・ステップを固定している2カ所のノブナットをゆるめ、ネジを抜きます。
- ・ステップを上下させステップ前部、ステップ取り付け部品パイプのそれぞれの穴を合わせネジを差し込みノブナットで固定してください(ステップの取り付けの詳細は4ページ【ステップの取り付け】を参照してください)。

⑦ ブレーキの取り扱い



- ・ブレーキをかけたいときは左右のペダルを下げてください。
- ・ブレーキを解除したいときは左右のペダルを上げてください。

警告

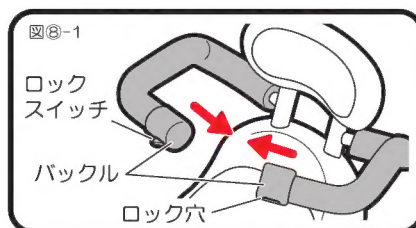
- 三輪車の走行中にブレーキをかけないでください。転倒や故障の原因になります。ブレーキの操作は必ず停止した状態で行ってください。
- お子様を三輪車に乗せた時はブレーキを過信しないでください。ブレーキをかけても動き出す恐れがあります。
- ブレーキを操作する際は必ず左右のペダルを同じように操作してください。左右が揃っていないと正常に動作しません。

注意

- ブレーキの上げ下げは保護者が行ってください。
- 三輪車を動かす前に必ず、ブレーキが解除されていることを確認してください。ブレーキをかけたまま走行すると故障の原因になります。

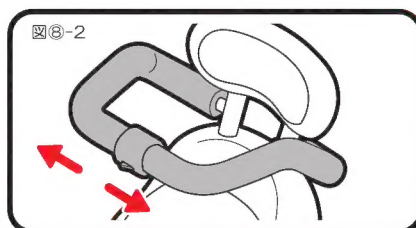
⑧ 安心ガードの開閉/取り外し方法

●安心ガードを閉める



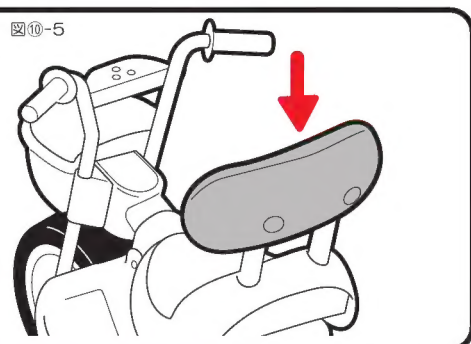
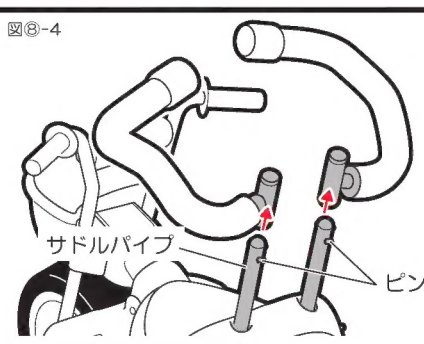
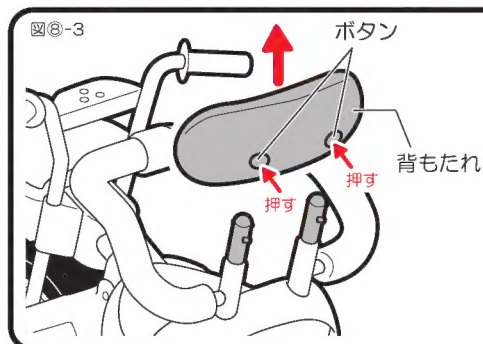
- ・安心ガードの左右のバックルが三輪車の中心で重なるように合わせてください。バックルが重なるとロックスイッチがロック穴から出てロックがかかります。

●安心ガードを開ける



- ・ロックスイッチを押しながらバックルを左右に開いてください。ロックが解除され、安心ガードを開くことができます。

●安心ガードを取り外す



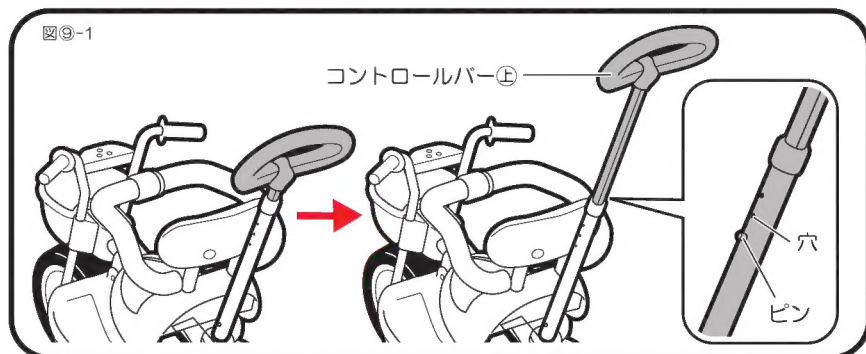
- ・ボタンを2つ同時に押しながら背もたれを上引き抜いてください。
- ・安心ガードを開いた状態で、サドルパイプのピンを押しながら左右の安心ガードを取り外してください。
- ・背もたれを再度取り付けてください。(5ページ【背もたれ、安心ガードの取り付け】を参照してください)。

注意

- 背もたれを外したまま使用しないでください。
- 子供を乗せたまま背もたれやハンドルを持って、車体を持ち上げないでください。

⑨ コントロールバーの調節/取り外し方法

●コントロールバーの高さ調節方法

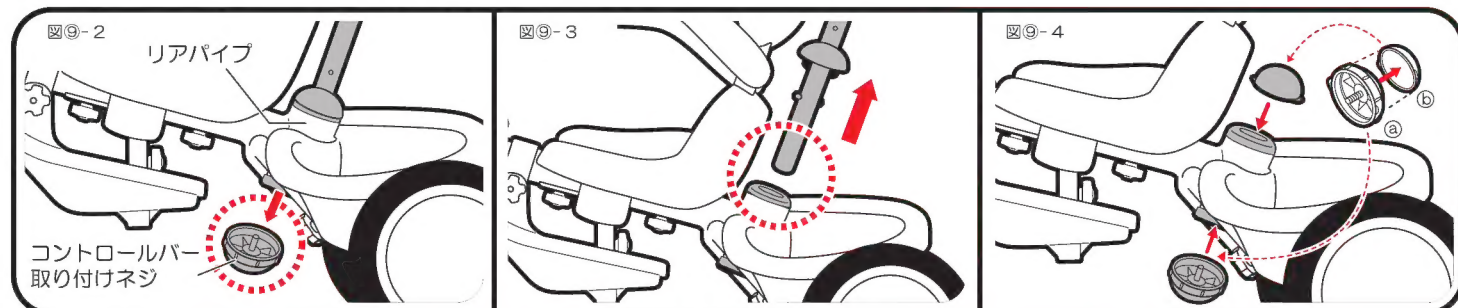


- ・コントロールバーの横穴から出ているピンを押しながらコントロールバー①を上下させ、お好みの高さに調節してください。
- ・他の高さの穴からピンが飛び出るまでスライドさせてください。

注意

- ピンが穴から飛び出ていることを確認の上、使用してください。ピンが出ていないと、使用中にコントロールバー①が抜けてしまう可能性があります。
- コントロールバーをご使用の際は、前輪をフリー状態（8ページ【ロック&フリーの取り扱い】を参照してください）。
- コントロールバーのグリップ部分に荷物などを乗せたり、下げたりしないでください。
- 段差のある場所での使用は避けてください。また、壁などにぶつけないでください。

●コントロールバーの取り外し方法



- ・コントロールバー取り付けネジをリア・ハンドルを直進位置（左右に曲げない）にして、コントロールバーをリアパイプから引き抜きます。ハンドルを直進位置しないとコントロールバーは抜けません。
- ・コントロールバー取り付けネジを①と②に分離し、①はリアパイプの下に、②はリアパイプの上に取り付けてください。

警告

- コントロールバーを外した後は必ず①②部品を取り付けてからご使用ください。①②部品を取り付けずに使用すると怪我をする恐れがあります。

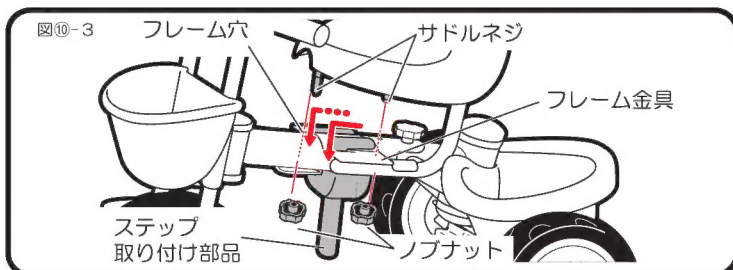
注意

- ①②部品の取り付け、取り外しは保護者が行ってください。
- 取り外した部品は、お子様の手の届かないところに保管してください。部品をふりまわすなどして思わぬ怪我の原因になります。また小さな部品はお子様が悪く飲んで飲み込むなどの事故の恐れがあります。

⑩ ステップの取り外し方法



- ・ステップを固定している2カ所のノブナットをゆるめ、ネジを抜き、矢印の方向にステップをずらしながら取り外します。
- ・ステップホルダーを取り外します。



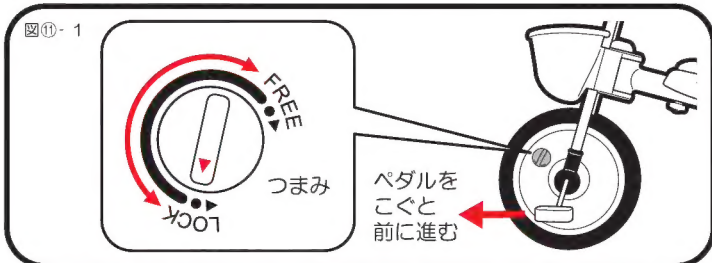
注意

- ステップの取り外しは保護者が行ってください。
- 取り外した部品は、お子様の手の届かないところに保管してください。小さな部品はお子様が悪く飲んで飲み込むなどの事故の恐れがあります。
- サドルの取り付けはノブナットでしっかり固定してください。

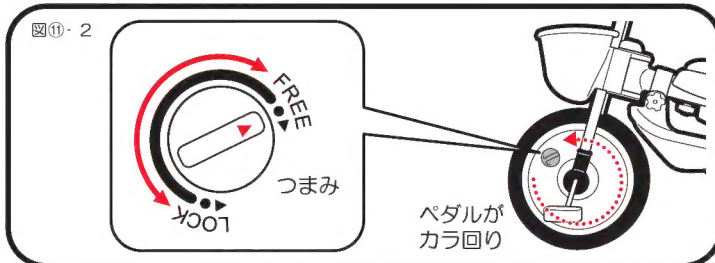
- ・サドルネジからノブナットを外し、ステップ取り付け部品を外します。
- ・ステップ取り付け部品を傾け、前方へスライドさせ取り外します。
- ・ノブナットを再度サドルネジに取り付けます。

11 ロック＆フリーの取り扱い

●ロック状態



●フリー状態



・お子様がペダルをこいで使用する場合は『つまみ』の▲印をLOCK（ロック）に合わせてください。

・保護者がコントロールバーで押す場合は『つまみ』の▲印をFREE（フリー）に合わせてください。

つまみをロックにすると・・・
前輪とペダルが連動します。お子様自身がペダルをこいでご使用になる場合はこの状態にしてください。

つまみをフリーにすると・・・
前輪とペダルが連動しません。保護者がコントロールバーの操作を行ってもお子様の足を巻き込むことはありません。

フリー機能の説明

フリーにしても前輪とペダルと一緒に回転する場合がありますが、ペダルを手でおさえた状態で前輪が回転すれば異常ではありません。フリー機能はペダルがステップなどに当たっても三輪車が不意に止まってしまったり、お子様がペダルとステップの間に、万が一足を挟んでも怪我をしないようにするための機能です。

必ず確認してください。

●ステップを取り付けてご使用の際は、必ず前輪のロック & フリー機能をフリーにしてください。ロックにしたまま使用するとペダルがステップにあたり、ステップが破損する恐れがあります。

警告

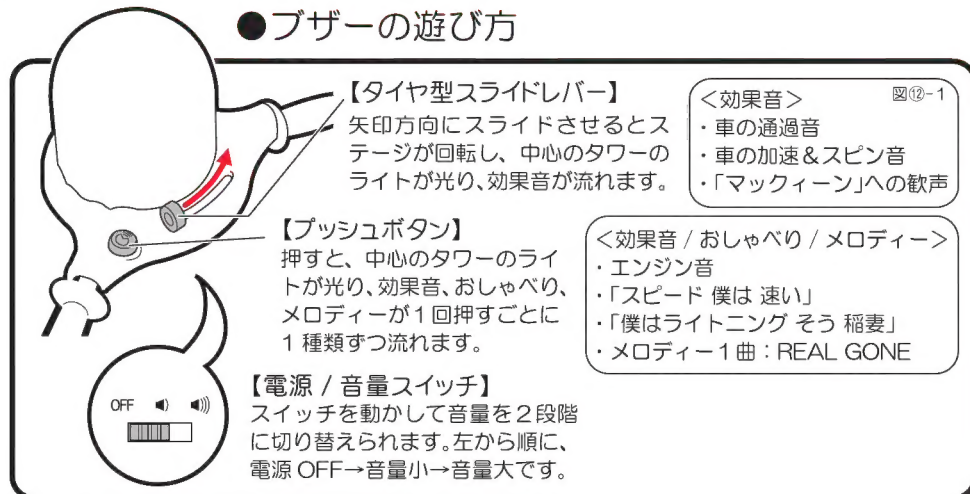
- ロックの状態でもコントロールバーの操作はしないでください。お子様の足を巻き込む恐れがあります。
- お子様が三輪車に乗った状態でのロック＆フリーの切り替えは危険です。お子様を三輪車から降ろして、切り替え操作を行ってください。
- 坂道での使用は三輪車が自然に動き出すことがあるので避けてください。

注意

- ロック＆フリーの切り替えは、保護者が行ってください。
- ご使用になる前は、必ずロック、フリーの確認を行ってください。
- 水たまりでの使用や雨ざらしでの保管は避けてください。前輪に水がたまる場合があります、故障の原因になります。

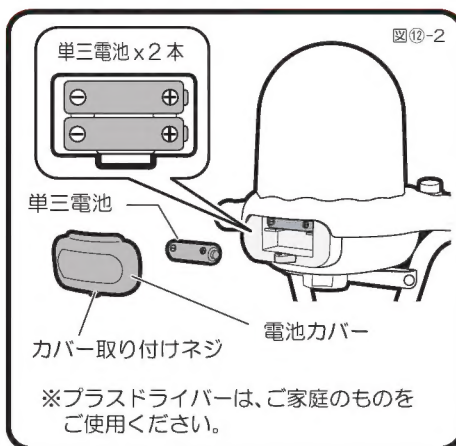
12 ブザーの取り扱い

●ブザーの遊び方



- ・プッシュボタンとタイヤ型スライドレバーで遊べます。
- ・ブザー後方の側面には電源 / 音量スイッチが付いています。
- ・遊んだ後は必ずスイッチを OFF にしてください。

●電池の交換



- ・カバー取り付けネジをプラスドライバーでゆるめます（カバー取り付けネジは、電池カバーから外れません）。
- ・単三電池2本を交換してください。

注意

- ブザー本体が確実に固定されていることを確かめてください。
- ブザー本体及びスイッチ・ボタン類は水に濡さないでください。故障の原因になります。
- 充電電池（ニカドなど）およびニッケル系乾電池（オキシライド乾電池など）は使用しないでください。
- 電池が減った状態で使用していると、音が鳴りにくくなったり、途中で途切れることがあります。早めに電池を交換してください。
- 寿命の尽きた電池をブザーに入れたままにしないでください。液もれなどにより故障の原因となります。
- カバー取り付けネジはカバーから外れない構造になっていますが、万が一分離した場合はネジの紛失や誤飲にご注意ください。